

子ども・若者の意見表明に関する支援者アンケート – (仮称)子ども参加条例の制定にあたって –

以下をお読みいただき、設問にお答えください。

(めざす姿)

条例の理念等は検討中ですが、「子どもや若者が、自分に関わることについて意見や考えを表明することができている。その意見が尊重され、子どもや若者とともにまちづくりが進められている。」そのような姿をめざしています。

(必要な取組)

様々な状況のもとで、意見を聴かれにくい子ども・若者がいることや意見表明への意欲や関心が高くない子どもや若者も自らの意見を持つといった認識のもと、意見を汲み取るための配慮や工夫が必要だと考えています。

(留意点)

- * 意見や考えは、言語化されたものだけではなく、表情、態度など様々な形で発せられることにも着目する必要があると考えています。
- * 子どもや若者の意見や考えがそのまま全て反映されるということではなく、子どもや若者の最善の利益を実現する観点から検討されるものだと考えています。

- ◆ 該当する選択肢にチェックしてください。
あなたが支援者として関わっている子どもや若者を想定してお答えください。

【設問1】 あなたの所属についてお答えください

小学校 中学校 保育所・子ども園・幼稚園 特別支援学校 障がい児福祉施設 相談機関 支援団体 その他

【設問2】 あなたが子ども・若者を支援するときに生かしている専門性についてお答えください

学校教諭 養護教諭 保育士・幼稚園教諭 社会福祉士 精神保健福祉士 心理士
その他 () 例：●●士、●●員、子育て経験、元教員

【設問3】 あなたが支援している子ども・若者の声の聴かれにくさの背景や要因を選択してください。(主なものを二つまで選択してください)

不登校 ひきこもり 経済的に困難な家庭 ヤングケアラー 障がい・発達障がい 外国にルーツをもつ 社会的養護経験者 性的マイノリティ 虐待やいじめを受けた経験がある 乳幼児期の子ども その他 ()

【設問4】 あなたが支援している子ども・若者が自らに関係することについて何かを決めるとき、おとなに意見や考えを言えていると思いますか。(例：習い事、クラブ活動、勉強のやり方、進学、就職、仕事の進め方など)

言えている	ときどき言えている	あまり言えていない	言えていない
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【設問4-①】 設問3で、「言えている」「ときどき言えている」と回答した方に伺います。自分の意見や考えを言おうと思った理由は何だと思えますか。(最大3つまで選択してください)

- ①意見や考えを聞いてほしいから
- ②自分が困っているから
- ③意見や考えを言えば反映してくれると思うから
- ④自分に関係する大切なことだから
- ⑤意見や考えをよく聞いてくれ、言いやすい雰囲気をつくってくれるから
- ⑥意見や考えを言ったことを他の人に言わないなど約束を守ってくれるから
- ⑦意見や考えを大切に扱ってくれるから
- ⑧意見や考えを言わないと相手に伝わらないから
- ⑨その他(自由記述)

【設問4-②】 設問3で「あまり言えていない」または「言えていない」と回答した方に伺います。言えていない理由は何だと思えますか?(最大3つまで選択してください。)

- ①意見や考えを言っても聞いてくれないから
- ②意見や考えに自信がないから
- ③意見や考えを言うことが恥ずかしいから
- ④意見や考えを言う相手が忙しそうだから
- ⑤意見や考えを言うことが面倒だから
- ⑥今までに言った意見や考えが反映されたのか、されなかったのか教えてくれなかったから
- ⑦意見や考えが大切に扱われなかったから
- ⑧意見や考えを言える雰囲気ではないから
- ⑨伝えたい意見や考えがないから
- ⑩その他(自由記述)

